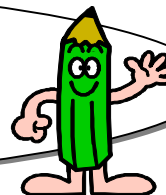




教育研究所は、今年も、
学力向上のための研究に取り組みます。



研究活動の紹介

平成21年度研究員

門川小 島洋一郎
草川小 永倉直樹
西門川小 高瀬満子
五十鈴小 松岡和幸
門川中 酒匂慎一郎
西門川中 長友政文

教育研究所の研究計画

研究回数 毎月3回(原則として 月曜日)

研究時間 16時30分~

研究場所 教育研究所(五十鈴小学校内)

6名の研究員は、学校の授業が終わって子どもを帰したあと、門川町教育のレベルアップのために、力を合わせて、いっしょけんめい研究に取り組んでいます。

研究の成果は、研究発表したり、研究所便りで情報発信したりします。また、学校に研究資料を提供します。

漢字



今年の研究を紹介します。

教育研究

基礎基本の定着を図る学力向上プランをつくります。



学習指導法の研究

授業の前や授業の後、また1時間の授業の中で、どのような指導を行えば、一人一人の子どもがしっかり理解できるか、ということについて研究します。



はげみ学習の研究

授業で学習したことを、さらに、一人の子どもにしっかりと定着させるために、授業以外の学習活動で、どのような取組を行えばよいか、ということについて研究します。

情報発信

家庭や学校の教育に役立つ情報を発信します。

研究で明らかになったことや実態調査の結果、また、学力向上につながる工夫など、家庭の子育てや学校での教育活動に役立つ情報を、教育研究所便り「ふれあい」や教育研修資料、参観日資料などで紹介します。

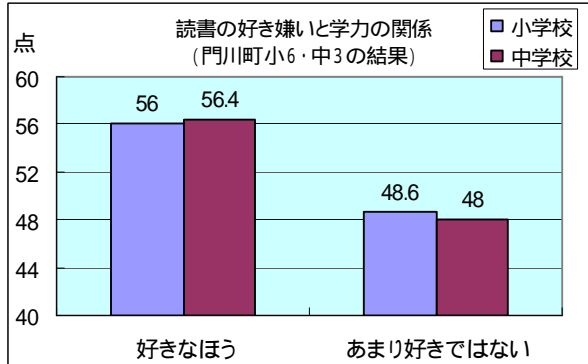


門川町の子ども一人一人の確かな学力を育てるために！

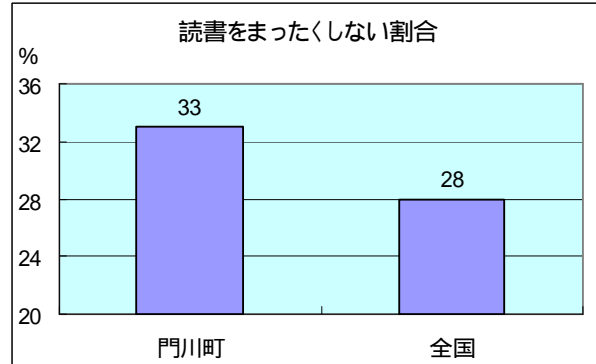
（豊かな読書が、確かな学力を育てます！） *全国学力調査結果より（20年度）



読書が好きな人は、学力が高い！



門川町の子ども読書は、やや足りない？



読書をまったくしない、という門川町の子どもは、全国平均より5%ほど多くなっています。やや読書をするのが少ないようです。読書をするのが学力づくりにつながることを考えると、学校・家庭・地域で読書に親しむ取組が必要ではないかと思えます。

読書が好きな子どもと、あまり好きではない子どもとでは、小・中学校とも、学力点で約7点～8点の差が見られます。読書が好きな子どもは、日頃から読書をとおして活字に親しんでいます。このことが、学力にもよい影響を与えているようです。

家庭でできる読書の工夫

家庭読書、5つのヒント

- 1 親子で一緒に、本を読みましょう。
- 2 わが家の本読みタイムをつくりましょう。
- 3 小さい子には、読み聞かせをしましょう。
- 4 子どもの本読みを聞きましょう。
- 5 子どもと一緒に、図書館に出かけましょう。

読書は、夢や豊かな心を育て、言葉の力を高めます。家庭と学校が力を合わせて、子どもたちが読書できる、読書が好きな環境づくりに取り組むことが大切です。

何時間も読書をするのは難しいと思いますが、ちょっとした時間を見つけ、読書することを積み重ねて、読書の習慣をつくりましょう。



子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）

63 - 1566

~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）~~~~